

公募説明会

- 画面のキャプチャー、録音はご遠慮ください。
- 説明会中はカメラとマイクはオフにしてください。
- 本説明資料は、後日ホームページに掲載いたします。
- ご質問は「質問内容」をチャットでご入力ください。
- 事務局から順次回答いたします。
- 本日全ての質問をお受けできない場合がございますが、ご了承ください。
- なお、チャットは本説明会の参加者全員が閲覧可能です。
- 以降のお問い合わせは、メールでお問い合わせください。

風車生産技術研究開発

公募説明会資料

－ 内 容 －

- ・事業概要（事業内容・期間・規模など）
- ・応募要件（応募方法・留意点など）
- ・審査方法と基準
- ・スケジュール
- ・留意点

2026年9月10日
NEDO再生可能エネルギー部

1. 事業内容及び公募対象
2. 応募要件・実施要件
3. 応募方法
4. 採択先の選定
5. スケジュール
6. 留意点
7. 問い合わせ先

●事業内容

◆本事業の背景

2025年2月閣議決定の「第7次エネルギー基本計画」及び「GX2040ビジョン」では、2050年カーボンニュートラルに向け再エネを主力電源として最大限導入することとされ、2040年度の再エネ電源構成比率は4～5割程度と見込まれています。中でも洋上風力は、コスト低減が期待される電源として主力電源化の「切り札」と位置づけられ、「洋上風力産業ビジョン（第1次）」では2040年までに浮体式を含む30～45GWの案件形成を目指すと言われています。一方、我が国周辺は欧州と比べ急峻な地形・複雑な地層・深い水深が多く、風速も相対的に小さいことから、市場拡大や産業形成の遅れが課題となっています。特に大型風車は国内に製造拠点がなく輸入依存が続き、陸上風力で培った国内部品メーカーの技術力やものづくり基盤を活かしきれておらず、我が国の技術を活用した風車サプライチェーンの構築が急務となっています。

◆本事業の目的

本事業では、こうした政策的背景を踏まえ、2040年の案件形成目標（洋上風力30～45GW、うち浮体式15GW）を実現するに当たって必要となる風車、特にアジア太平洋地域の気象・海象条件を踏まえた浮体向け風車について、安定的に調達・供給できる体制を2040年までに構築するとともに、更なる生産規模の拡大に向け、国内のみならずアジア太平洋市場への展開が図られている状態を将来像としています。そして、当該将来像の実現に向け、アジア太平洋地域の気象・海象条件を踏まえた浮体向け風車及び風車部品の安定供給の実現並びにサプライチェーンの強靱化に資することを目的として、以下の取組を行います。

◆ 本事業の内容

【研究開発項目①：風車部品産業強靱化基盤開発】

■ 概要

- ・実海域の風力発電設備を対象に風・波等の環境データを取得し、IEC 61400-1及び61400-3の設計風・波モデルに適応させたモデル等を統計情報として作成。
- ・当該データを基に、風車部品の設計評価の高度化に資するモデルデータを構築。運転保守の高度化の観点も踏まえ、部品メーカー等が活用可能な形で整理。
- ・部品メーカー等が設計検討に資する情報提供文書を利活用ケースとして作成し、データ共有の仕組み等、事業終了後の活用方法を整理。

■ 具体的な内容

- ・風車及び風車部品の高度化に資するモデルデータ（気象・海象データ及び風車の部品境界領域各所の荷重データ等）の構築に向けて、アジア太平洋地域固有の環境条件や浮体式特有の各種条件も考慮した部品間の境界要件及びデータ取得手法の特定及びモデルデータの構築手法の開発
- ・風車及び風車部品開発での活用を想定した実機風車データに基づくモデルデータの構築
- ・デジタルツイン化も含めたモデルデータ活用シナリオの構築及び継続的な活用、利用に向けた方策の検討

◆ 本事業の内容

【研究開発項目②：風車設計技術研究開発】

■ 概要

- ・浮体式を含むアジア太平洋地域に適した風車の開発に向け、グローバルメーカーとの協業も視野に、複数の開発手法の長所・短所を比較評価するとともに、同地域の環境条件を反映した風車仕様及びコア技術の開発を実施。
- ・当該仕様に基づく国内部品製造及び生産工場の成立性を技術的観点から整理し、事業終了後に推進すべき技術開発の方向性を具体化するとともに、後続の風車設計・実証・量産段階への円滑な移行に資する基盤を構築。

■ 具体的な内容

- ・日本をはじめとしたアジア太平洋地域固有の環境条件下や浮体搭載時を想定し、風車に必要とされる各種条件の整理
- ・これら各種条件が風車設計等に与える影響の評価及び浮体を含むアジア太平洋地域に適した風車仕様及びこれらの核となるコア技術の検討・開発（既存風車等を元にした設計変更等の具体的な検討を含む概念設計程度までを想定。コア技術の検討に当たっては、提案者内外からの知見の収集・集約等を行える体制とするなど、多様なアイデアを組み込む仕組みを設けることが望ましい）
- ・当該風車仕様及びコア技術等にかかる長期的な運転保守への影響等に係る分析、国内サプライチェーン構築に向けた分析、海外OEMとの協業に係るシナリオ分析（各種知財・ライセンス等に係る分析を含む）等の実施及びサプライチェーン及び生産体制具体化に向けた方針の検討

◆公募対象

本公募の対象、予算規模及び事業期間は以下のとおりです。

対象	予算規模	事業期間
研究開発項目① 風車部品産業強靱化基盤開発	1 件あたり 最大10億円程度まで (負担率:100%NEDO負担)	2026年度～ <u>2028</u> 年度
研究開発項目② 風車設計技術研究開発	1 件あたり 最大10億円程度まで (負担率:100%NEDO負担)	2026年度～ <u>2027</u> 年度

- ・研究開発項目①、②ともに委託事業で、各研究開発項目それぞれについて公募を行います。
- ・事業の全体の想定予算は20億円程度、2026年度の予算額は約9.5億円であり、これら想定される予算の範囲内で採択先を決定します。
- ・2027年度以降については、予算案等の審議状況や政府方針変更等により、予算規模は変動することがあり、今回の採択及び契約以降もこれらの方針変更等に伴う契約額の減額等の可能性があります。
- ・応募は「研究開発項目①」と「研究開発項目②」のいずれかにご応募ください。一つの提案でもって、両方の研究開発項目に応募はできません（それぞれに応募することは可能です）。なお、それぞれの研究開発項目内の部分提案はできません。

◆ 応募要件（１／２）

応募資格のある法人は、次の（１）～（７）までの条件、「基本計画」等に応示された条件を満たす、単独又は複数で受託を希望する企業・大学等とします。なお、国立研究開発法人が応募する場合、国立研究開発法人から民間企業への再委託又は共同実施（再委託先又は共同実施先へ資金の流れがないものを除く。）は、原則認めておりませんのでご注意ください。

- （１）当該技術又は関連技術の研究開発の実績を有し、かつ、研究開発目標達成及び研究計画遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- （２）委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金及び設備等の十分な管理能力を有し、かつ、情報管理体制等を有していること。
- （３）NEDOが事業を推進する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる体制を有していること。
- （４）企業等が事業に応募する場合は、当該事業の研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有していること。

◆ 応募要件（2 / 2）

応募資格のある法人は、次の（１）～（７）までの条件、「基本計画」等に応示された条件を満たす、単独又は複数で受託を希望する企業・大学等とします。なお、国立研究開発法人が応募する場合、国立研究開発法人から民間企業への再委託又は共同実施（再委託先又は共同実施先へ資金の流れがないものを除く。）は、原則認めておりませんのでご注意ください。

（５）研究組合、公益法人等が応募する場合は、参画する各企業等が当該事業の研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有するとともに、応募する研究組合等とそこに参画する企業等の責任と役割が明確化されていること。

（６）複数の企業等が共同して事業に応募する場合は、実用化・事業化に向けた各企業等間の責任と役割が明確化されていること。

（７）本邦の企業・大学等で日本国内に研究開発拠点を有していること。なお、国外の企業・大学等（研究機関を含む）の特別な研究開発能力、研究施設等の活用又は国際標準獲得の観点から国外の企業・大学等との連携が必要な場合は、国外の企業・大学等も参画する形で実施することができる。

◆ 実施要件

本事業は、採択後、業務委託契約を締結します。業務委託契約の締結にあたっては、最新の「業務委託契約約款」を適用します。その他必要に応じて、特別約款の適用を求める場合があります。また委託業務の事務処理においては、NEDO が提示する事務処理マニュアルに基づき実施いただきます。

事業の実施にあたっては、該当する約款及びマニュアルを遵守いただくことが要件となります。

【参考】委託事業の手続き：約款・様式

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

委託事業の手続き：マニュアル

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

◆提出期限及び提出先

提案書等の提出書類を準備し、以下の提出期限までに電子申請システム「Jグランツ」上で申請してください。なお、持参、郵送、FAX又はE-mailによる提出は原則受け付けません。ただし、NEDOから別途指示があった場合は、この限りではありません。

提出期限：2026年10月5日（月）正午まで

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトの公募ページ上でお知らせいたします。

提出先：Jグランツ公募ページ申請URL

<https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDe8tMAD?wfid=a0XJ2000007h8fqMAA>

◆提出方法

電子申請システム「J グランツ」上で、必要項目を入力し提出書類をアップロードした上で申請してください。複数法人による共同提案を行う場合は、代表法人が提出書類を取りまとめの上、代表法人が申請を行ってください。代表法人以外の法人のJグランツ上の申請は不要です。

Jグランツの使用にあたっては、事前にGビズIDの「GビズIDプライムアカウント」または「GビズIDメンバーアカウント」が必要です。GビズIDの取得は2週間以上かかる場合もあるため、G ビズID を未取得であれば余裕をもって登録手続きを行ってください。

J グランツで申請操作完了後、システムから自動送信メールが届きます。申請内容や提出書類に不備がある場合は、修正等の対応をお願いする場合がありますので、NEDO担当者の指示に従ってください。

その他GビズIDの取得やJグランツ利用・申請にあたっては、以下のウェブサイトをご確認ください。

【参考】NEDO事業の公募におけるJグランツでの応募受付について

https://www.nedo.go.jp/koubo/ZZAN_100061.html

◆提出にあたっての留意事項

- ・提出書類は日本語で作成してください。
- ・「応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- ・提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- ・Jグランツ上の申請は、提出期限を厳守ください。提出期限までに申請完了できなかった場合は、応募は受け付けできませんので、余裕をもって提出してください。
- ・再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。
- ・応募者の責に依らないやむを得ない理由等（例：組織形態上、GビズIDの取得がそもそも不可でJグランツが利用できない、GビズIDやJグランツ等の外部システムのメンテナンスや障害発生等のシステム運営側の事情により申請ができない等）により、提出期限までにJグランツ上の申請が困難な場合には、提出期限前までに必ずNEDO担当者まで連絡し、NEDO担当者の指示に従ってください。

◆提出にあたっての留意事項

- ・Jグランツ上にアップロードするファイルは提出書類毎に作成し、一つのzipファイルにまとめてください。なお、アップロードするファイル（PDF、zip等）にはパスワードは付けないでください。
- ・アップロードされたファイルにおいて、ウイルス検知又はその疑い等があると当機構が判断した場合は、調査のため第三者へファイルの提供を行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・公正な審査を行うための利害関係の確認として、Jグランツ上で次ページの項目について入力を求めていますので、あらかじめご了承ください。

◆提出にあたっての留意事項

■入力項目

- ①代表法人名称及び共同提案法人名称（共同提案の場合は、提案法人名を列記）
- ②提案概要（300文字以内）
- ③提案内容・手法のポイント（600文字以内）
- ④責任者名（所属部署・職名含む）
（法人ごとに列記。委託事業の場合は研究開発責任者、補助事業の場合は主任研究者）
- ⑤利害関係者

◆提出書類

- ・提出書類のチェックリスト
- ・別添1：提案書
- ・別添2：研究開発責任者 研究経歴書及び若手研究者（40歳以下）数
- ・別添3：提案者情報
- ・別添4：NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票
- ・別添5：提案概要資料
- ・直近の事業報告書
- ・直近3年分の単体／連結財務諸表（原則、円単位）

◆審査の方法

外部有識者による採択審査委員会で審査の上、その結果を踏まえ、NEDO内の契約・交付審査委員会を経て、最終的に実施者を決定します。

必要に応じてヒアリング審査や資料の追加、代表者面談等をお願いする場合があります。なお、採択先の選定は非公開で行われ、審査の経過等、審査に関する問い合わせには応じられませんのであらかじめご了承ください。

◆審査基準

i.事業の適合性

本事業の目的・目標に適合しているか 等

ii.開発の優位性

開発内容に新規性・優位性等があるか 等

iii.計画の妥当性

達成目標が明確で、スケジュールが効率的・効果的か 等

iv.実用化・事業化の取組

実用化・事業化のターゲットが明確で、それに向けた取組に実現性・実行性があるか、社会・経済への波及効果が期待できるか 等

v.実施体制・能力

役割分担が明確で効率的な体制か、必要な人員・設備・支援体制や関連分野の開発実績を有するか 等

vi.提案の経済性

予算の範囲内で必要経費を適切に計上しているか、他事業との重複なく妥当な予算規模か 等

vii.総合評価

なお、採択審査にあたり、以下の要素で加点を行います。

- ・女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業・トライくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業（ユースエール認定企業）に対しては加点します。
- ・中堅・中小・ベンチャー企業が直接委託先であり、研究開発遂行や実用化・事業化にあたっての重要な役割を担っている場合に加点します。
- ・若手研究者（40歳以下）が研究開発責任者若しくは主要研究者として実施体制に含まれ、当該研究者の実績や将来性等を加味した提案になっている場合に加点します。

◆採択先の公表及び通知

- a.採択結果の公表等採択した案件に関しては、事業者名（委託事業の場合の再委託先・共同実施先、補助事業の場合の委託先・共同研究先含む）、事業概要をNEDOのウェブサイト等で公表します。不採択とした案件については、その旨を不採択とした理由とともに提案者へ通知します。
- b.採択審査委員の氏名の公表
採択審査委員の氏名は、採択案件の公表時に公表します。
- c.附帯条件
採択に当たって条件（予算や体制の変更、経費の支払方法等）を付す場合があります。

スケジュール



	9月			10月			11月			12月			1月			
公募																
審査							書面審査 ▼ 採択審査委員会（プレゼン審査）									
契約・交付 審査委員会																
契約締結										採択先決定						契約締結

2026年 9月 4日：公募開始
 2026年 9月10日：公募説明会（オンライン）
 2026年10月 5日：公募締切
 2026年11月 6日（予定）：採択審査委員会
 （外部有識者による審査）

2026年11月上旬（予定）：契約・交付審査委員会
 2026年11月中旬（予定）：採択先決定
 2026年12月上旬（予定）：ウェブサイトにて公表
 2027年 1月中旬（予定）：契約締結

応募時の留意点や採択後の各種事務手続きなど、その他の重要事項や留意事項を「【別紙】その他重要事項・留意事項」にまとめて記載してありますので、応募にあたっては必ず事前にご一読ください。(以下、一部抜粋)

◆事業運営及び実施に係る各種手続き

(1) 事業運営

③交付金インセンティブ制度

本事業は、「交付金インセンティブ制度」を導入します。本制度は事業期間中の成果が目覚ましい案件に対して、インセンティブの付与を行う仕組みです。インセンティブ付与の基準等は、採択決定以降に採択者に対し示します。なお、本制度の適用による契約額等の減額や支払い留保等は生じません。

【参考】NEDO「交付金インセンティブ制度」の導入について

<https://www.nedo.go.jp/content/100956873.pdf>

◆問い合わせ先

本事業の内容及び契約に関する質問等は、**2026年9月11日（金）から9月28日（月）**の間に限り以下の問い合わせ先のE-mailで受け付けます。ただし審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

※お問い合わせの際は、件名の頭に「**【2026 公募03】**」を記載の上ご連絡ください。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
再生可能エネルギー部 大友、平澤、水上、米倉
E-mail : floating-wind@nedo.go.jp

◆事前相談の実施要領

対応期間：2026年9月11日（金）9時30分～2026年9月28日（月）17時00分まで

実施形式：オンライン（Teams形式）

相談時間：1件あたり30分（1事業者1回まで※）

留意事項：事前相談の際には、「事前相談申込書フォーマット」に記載された留意事項を遵守いただきますので、必ず事前にご確認ください。

※複数事業者のいる共同提案の場合も事前相談は1回までとさせていただきます。

ご応募、お待ちしております。